

此中の内、案内者にて、土佐へ下りて、宗我部と云所に居住して、長宗我部と氏を改、
〔寛永諸家系圖傳 二百三十三〕伊東

時信○中略

伊豆國伊東の庄に居住す、このゆるにはじめて伊東と號す、

〔維山文集四十二〕佐河田壺齋碑銘

佐河田喜六昌俊、姓高階、出自高市皇子六世之孫峯緒、承和年中、初賜高階姓、其後省曰高、其先食邑於下野國足利庄、足次郷早河田村、早或作佐、故以佐河田爲氏、

〔百家琦行傳二〕三組町與三右衛門

湯島三組町といへる處に、與三ゑもと云者ありし、○中略小石川邊の御官第へ御抱になりけり、與三ゑもん、元來氏素性も、まねぬ者なりければ、住居したる町の名を氏とし、三組町與三ゑもんとて、今猶その子孫残りけるとぞ、

以動物爲苗字

〔駿府政事錄六〕慶長十九年九月三日、於三之丸、御能五番、○中略金春左吉、大鼓名譽、鷲仁右衛門、狂言名譽、但鷲

自往昔寶生座、右兩人、從今日觀世座、可罷成候旨、被仰出云々、

〔先哲叢談後編三〕鷹見夾鳩

鷹見氏、本姓曰金澤、其先世、遠州人金澤某、又始仕于田原侯曩祖、兜鍪之世、屢有勳功、嘗見白鷹、脚鹿角架於諸楓樹上、而結巢焉、以爲瑞、捕得之、以奉神祖、○德川家康因賜之姓曰鷹見氏、當時之人皆榮焉、

〔先哲叢談後編八〕龍草廬

十二世祖、正五位下左衛門佐善則、仕後崇光王、貞成子、伏見月宮館、方其王子彥仁降誕日、善則爲之禱、鳩嶺○石之神、通七日夜矣、夢中神告、以彥仁享福事、而歸途現視、登龍之瑞、無何、彥仁、以稱光帝崩入踐祚、是爲後花園帝、王喜曰、是善則忠誠所致也、以視登龍之瑞、即令其姓爲龍、且賜以寶劔一口、因